

第72回 明るく幸せな社会を築く若槻地区住民集会

～縮小規模で開催～

7月は法務省が主唱する「社会を明るくする運動」月間です。

今年度は、特定非営利活動法人「CAPながの」より、3人の講師の方においでいただいて講演会を行いました。大人ワークショップということで、子どもが暴力から自分を守るための人権教育プログラムを学びました。始めに



CAPとはChild(子ども)へのAssault(暴力) Prevention(防止)という説明をされました。1978年にアメリカで誕生し、1985年に日本に紹介され、世界各地でたくさんのグループが活動しているということです。ここでいう暴力とは、人の心と体を傷つけることで、家庭や学校、地域、その他あらゆる場面で様々な形で起こっています。そんな中で、長野県の子どもの自殺の数は全国で一番多いということをお聞きしました。大変残念なことです。また、虐待には、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト(養育、保護義務の拒否、怠慢)、心理的虐待があり、虐待を受けたと思われる児童を発見した場合は、速やかに関係機関に通告しなければならないという決まりがあります。匿名も可能で間違っても責任を問われることはないそうです。

子どもワークショップを体験するというを行いました。5年生の子どもになって、自分だったらどうするかを考えました。ずいぶん以前の自分になりきるとするのはなかなか難しいことでしたが、参加者の皆さんは前向きに、自分だったらと想像しながら言葉や行動を考えていました。一方的に話を聞くというのではなく、途中で数

人のグループに分かれて話し合いました。そして、考えたことをマイクを通して発表するという参加型の講演でしたが、真剣に取り組む様子が見られ新鮮な感じがしました。

子どもには生きるために必要な、安心して自信を持って自由にできるという3つの権利があります。私たち大人はそれを守ってあげるようになります。

そのために、信頼できる大人になることが求められます。子供が困ったことがあるとき、一緒になってそれを真剣に聴いてあげる。否定や、アドバイスもせず、ゆっくりと、共感しながら聴くことは簡単なようで、なかなか難しいようです。周りにそんな大人がいたら、地域で安心して過ごすことができると思います。それにはまず挨拶や声かけをしていくことから始めるのが良いのではないかという意見が出されました。

今年度も新型コロナウイルス感染対策のため、地域の全員の方々に参加の呼びかけができなかったことは残念です。コミわか役員を中心に約60名で行いましたが、当日は猛暑という厳しい環境にもかかわらずご参加いただきました。皆様、大変ありがとうございました。

以下、参加者の感想の一部です。

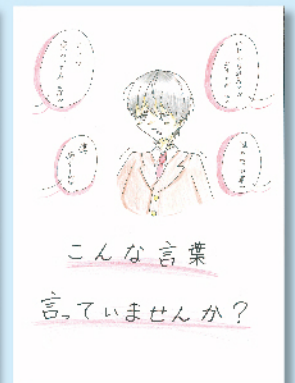
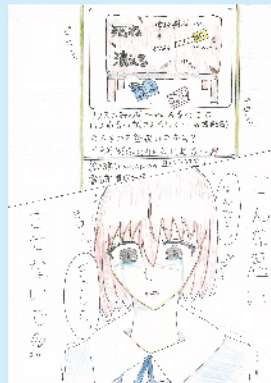
- 分かりやすい参加型の講演会でよかったです。
- このワークショップを若い親に経験してもらいたい。
- 安心、安全、自由な地域と、大人から心を開いて話を傾聴することが心に残った。
- 挨拶が大切、諦めていたがもう少し努力します。

(人権教育部会)

人権に関するポスター発表

7月2日(土)に開催した「若槻地区住民集会」で展示されたポスターです。

コミわか広場の紙面をお借りし、紹介させていただきます。今回は「北部中学校」生徒さんの作品です。集会に参加されなかった方も、この機会にぜひ人権について考えてみませんか？



2022 若槻地区秋祭り



実施内容については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催方法等検討中の区が多く、誠に申し訳ありませんが、区の見覧、又は区の役員の方等に確認をお願いいたします。(コミわか事務局)



区	日付	場所	区	日付	場所	区	日付	場所
檀 田	8月21日(日)	若月神社	若槻東条	9月25日(日)	蚊里田八幡宮	田 中	9月10日(土)	瀧宮神社
	9月24日(土)			9月17日(土)				
稲 田	9月22日(木)	稲田神社	上 野	18日(日)	粟野神社	吉	9月17日(土)	諏訪社・神明社
	23日(金)			9月18日(日)				
徳 間	9月22日(木)	徳間会館	田 子	9月10日(土)	田子神社	若槻団地	9月22日(木)	諏訪神社
				11日(日)				